

 Sun A. Kaken

証券コード:4234



株主の皆様へ

第111期 決算のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日

株式会社 サンエー化研

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第111期（2019年4月1日～2020年3月31日）における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに今後の取り組みについてご報告させていただきます。

当期の経済情勢

当期における世界経済につきましては、米中貿易摩擦の長期化によって、緩やかな回復基調にあった景気は足踏み状態に移行しましたが、昨年末に中国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、当期末にはアジア各国にとどまらず米国、欧州をはじめ、あらゆる国の経済活動が停滞することとなりました。

わが国経済におきましても、昨年末までは景気は横ばいで推移しておりましたが、年明け以降、新型コロナウイルス

スの感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピックをはじめ各種イベントが延期や中止に追い込まれた他、多くの事業者が営業自粛を余儀なくされ、当期末にかけて経済の縮小が進行しました。

当社グループの業績概況

当期における当社グループの業績といたしましては、産業資材の製品に受注回復の兆しが見られましたが、軽包装材料及び機能性材料の製品についてはともに受注が減少し、連結売上高は前期比で減収となりました。

損益面では、受注減少に伴う設備稼働率の低下によって製品の単位原価が上昇し、営業利益の減益要因となりました。さらに、前述の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う世界的な経済縮小の影響等から、掛川工場WEST並びにグループ会社である株式会社ペンリード及び長鼎電子材料（蘇州）有限公司において、それぞれ収益性評価の見直しによる減損損失を計上した他、グループ会社に対しては、出資金の減損並びに貸付金及び保証債務の引当金繰入を行い、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上することとなりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高296億98百万円（前期比4.8%減）、営業利益1億81百万円（前期比44.4%減）、経常損失1億61百万円（前期は経常利益5億87百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失13億38百万円



代表取締役社長 山本明広

(前期は親会社株主に帰属する当期純利益1億85百万円) となりました。

今後の取り組みについて

軽包装材料セグメントにつきましては、今後も安定した需要が見込まれる電子レンジ対応食品包材「レンジD○!」の生産体制を強化するとともに、食品メーカーとも協業することによって新たなニーズを掘り起こし、「レンジD○!」の商品価値向上とさらなるシェア拡大を図ります。

当社グループが強みをもつエア緩衝材、耐内容物包材及びイージーカットフィルムなどの製品についても用途開発と製品アイテムの拡充を行って売上増加に努めます。

また、プラスチック容器包装の廃棄によって生じる様々な環境問題に対処するため、紙や生分解性プラスチック等を主原料とする包材の開発や、リサイクルが容易なモノマテリアル(単一素材)化にも積極的に取り組んでまいります。

産業資材セグメントにつきましては、掛川工場WESTの高い生産能力、クリーンな環境という特長を活かし、品質・コスト・納期面で顧客満足の上昇を図り、売上拡大を目指します。

特にIT関連分野においては、次世代の通信規格：5Gへの移行が進むなか、FPC(フレキシブルプリント基板)用工程紙に要求される品質や性能も変化しつつあります。この変化に迅速に対応することで、新規受注の獲得に努めます。

また、炭素繊維プリプレグ用工程紙の拡販を進め、早期に収益寄与を果たすとともに、医療・スポーツの分野においても当社剥離紙の新規採用に向けて注力し、新たな成長

の足掛かりを築いてまいります。

機能性材料セグメントにつきましては、顧客密着型の開発態勢を今後も継続することで、高付加価値製品を迅速に開発・供給することのできる態勢を維持します。特に光学用途のニッチな分野においては、開発段階から顧客との協業関係を構築し、将来の受注機会の確保に努めます。

液晶テレビ向けの表面保護フィルムについては、中国の関連会社：長鼎電子材料(蘇州)有限公司を技術面でサポートし、4K、8Kにも対応可能な品質レベルに引き上げ、中国及び周辺国におけるシェア拡大に努めます。

また、光学用途以外への拡販や新たな用途開発を行って、液晶パネルの市場動向に左右されにくい体質への転換を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

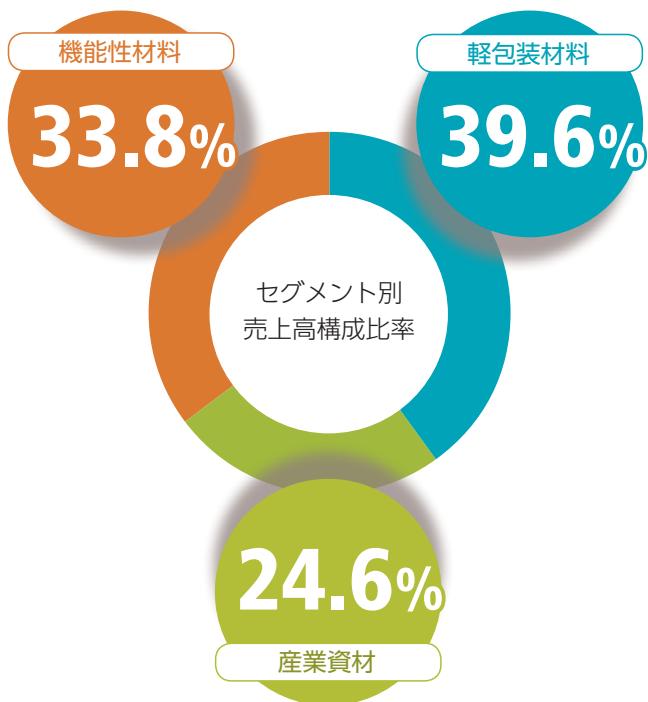
決算ハイライト

売上高  **296億98**百万円 (前期比 4.8%減)

営業利益  **1億81**百万円 (前期比 44.4%減)

経常損失   **1億61**百万円 (—)

親会社株主に帰属する当期純損失   **13億38**百万円 (—)



■ セグメント別売上高

売上高	296億98百万円
軽包装材料	117億60百万円
産業資材	73億00百万円
機能性材料	100億40百万円

軽包装材料



事業内容

食品、医薬品、医療器具、洗剤・トイレタリー用品、電子部品、精密機器等の包装材料(包材)の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

当期の概況

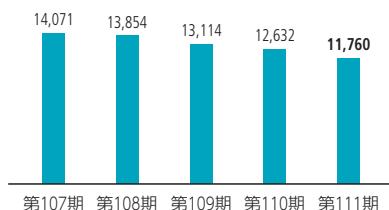
食品用包材については、天候不順や競争激化により清涼飲料用パウチが受注減少。電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」は前期並みにとどまり、減収。

医薬品・医療用包材については、高防湿PTP包装用フィルム「テクニフィルム」の販売が堅調に推移するも、他の医療用包材の受注が減少し、減収。

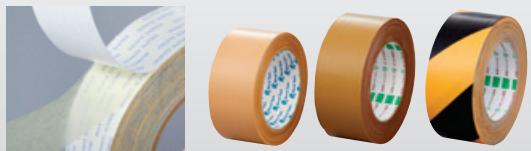
洗剤・トイレタリー用包材については、詰替え用パウチが最終製品の販売不振の影響を受け苦戦するも、化粧品用包材の受注が増加し、増収。

精密機器その他の包材については、エア緩衝材「エアロテクト」が主力ユーザーの使用量削減により販売低下。その他の包材についても受注が伸び悩み、減収。

売上高の推移
(単位:百万円)



産業資材



事業内容

粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や彫型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

当期の概況

テープ基材関連製品については、合理化と価格対応による国内テープメーカーとの取引拡大や、台風被害の復旧に伴う需要増加により増収。

剥離紙については、自動車部品関連や一般用途の受注が減少するも、当第3四半期までスマートフォンの市場復調が持続したことによりFPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙の販売が増加し、増収。

売上高の推移
(単位:百万円)



機能性材料



事業内容

粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

当期の概況

粘着塗工タイプ「サニテクト」については、PET基材のNSタイプが一部ユーザーの仕様変更への対応に伴い受注減少。PO基材の従来タイプも一部銘柄で他社製2層押し出しタイプへの置換えが進み、減収。

2層押し出しタイプの表面保護フィルム「PAC」及び精密塗工タイプの表面保護フィルム「SAT」については、いずれもスマートフォン向けの受注が回復したものの、下期より液晶パネルメーカーの生産調整によりテレビ向けが減少。年明け以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、最終的に減収。

売上高の推移
(単位:百万円)



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 2019年3月31日現在	当期末 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,028	20,075
現金及び預金	5,380	6,341
売上債権	10,974	10,341
たな卸資産	3,338	3,274
その他	334	117
固定資産	13,757	11,552
有形固定資産	7,528	6,520
無形固定資産	32	27
投資その他の資産	6,196	5,004
資産合計	33,786	31,627
負債の部		
流動負債	12,060	12,303
仕入債務	6,898	6,148
短期借入金	3,280	4,120
その他	1,881	2,034
固定負債	2,345	1,982
長期借入金	715	355
その他	1,629	1,627
負債合計	14,405	14,286
純資産の部		
株主資本	17,519	15,983
資本金	2,176	2,176
資本剰余金	2,136	2,136
利益剰余金	13,322	11,787
自己株式	△116	△116
その他	1,861	1,357
純資産合計	19,380	17,341
負債純資産合計	33,786	31,627

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高	31,195	29,698
売上原価	27,752	26,480
売上総利益	3,443	3,217
販売費及び一般管理費	3,117	3,036
営業利益	326	181
営業外収益	518	284
営業外費用	256	628
経常利益(△は損失)	587	△161
特別利益	285	1
特別損失	506	1,133
税金等調整前当期純利益(△は損失)	366	△1,294
法人税、住民税及び事業税	255	104
法人税等調整額	△45	△65
非支配株主に帰属する当期純利益(△は損失)	△28	4
親会社株主に帰属する当期純利益(△は損失)	185	△1,338

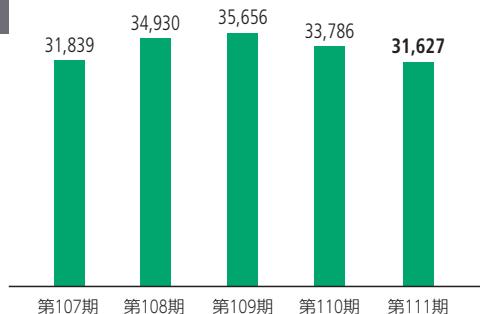
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,630	1,242
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,171	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△755	288
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△288	935
現金及び現金同等物の期首残高	5,488	5,199
現金及び現金同等物の期末残高	5,199	6,135

■ 総資産

(単位:百万円)

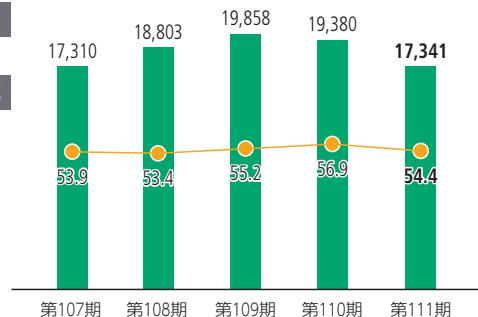


■ 純資産

(単位:百万円)

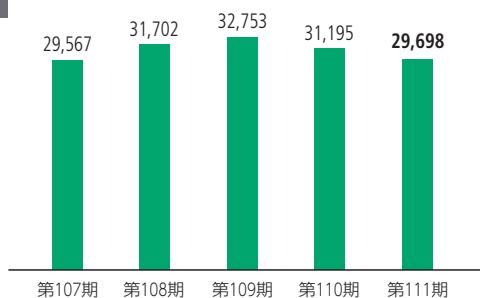
● 自己資本比率

(単位:%)



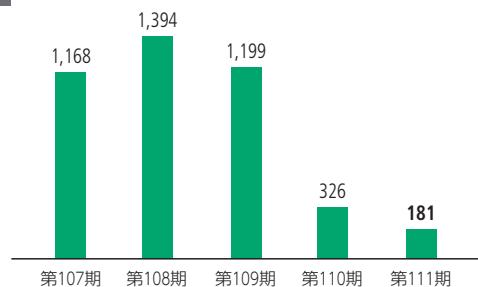
■ 売上高

(単位:百万円)



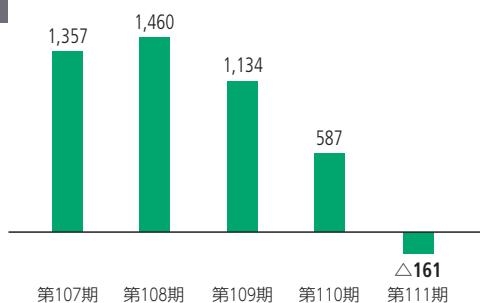
■ 営業利益

(単位:百万円)



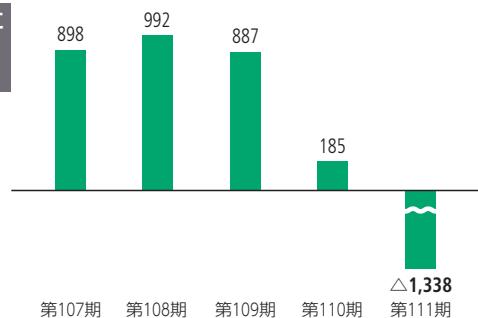
■ 経常利益

(単位:百万円)



■ 親会社株主に 帰属する 当期純利益

(単位:百万円)



当社のフィルムテクノロジーは、産業を支える部材から、皆様の豊かな暮らしをサポートする食品、医療・医薬品、日用品などに使用される包装資材まで、幅広いジャンルでご要望にお応えしています。ここでは、これら製品群のなかから、市場で注目されている新製品をご紹介します。

新製品
01

電子レンジで圧力スチーム調理ができる
パウチ入り合わせ調味料

味の素(株)「スチーミー Steam Me」

味の素(株)様が発売した、調理に時間と手間のかかる料理が電子レンジを使って簡単に短時間で手作りできる、圧力スチーム調理パウチ入り合わせ調味料「スチーミー Steam Me」には、**当社製品「レンジDo!」のチャックつきパウチの技術が使用されています。**



調理イメージ

新製品
02

今後、様々な用途での利用が期待される
環境に配慮した次世代の包装材料
環境配慮型パッケージ

当社ではプラスチック原料等を使用した製品を生産しているため、環境への負荷は避けて通ることができません。そのためプラスチック原料を削減する、リサイクル性に優れる等の特長を有した**環境配慮型パッケージの開発に取り組み、多種多彩な製品を生み出しています。**



1 バイオマスインキ使用のレンジDo!T型規格袋



2 紙構成 レンジDo!T型規格袋 (開発品)



5 PEモノマテリアルスパウトパウチ PE製スパウト付き (開発品)

**環境配慮型
パッケージの
多彩なラインアップ**

1

**バイオマスインキ使用の
レンジDo!T型規格袋**

バイオマス度10%以上のバイオマスインキを使用したレンジDo!規格袋です。

想定用途 食品全般

2

**紙構成 レンジDo!
T型規格袋 (開発品)**

表層に紙を使用+バイオマス由来のインキを使用した高バイオマス度のレンジDo!規格袋です。

想定用途 冷凍食品、チルド食品

3

**バイオマスPEラミネートフィルム
(開発品)**

植物由来のポリエチレンを使用した、ラミネートフィルムです。

想定用途 包材全般

4

**PEモノマテリアル
スタンドパウチ (開発品)**

ナイロンフィルム代替として表面材に高剛性ポリエチレンを用いたスタンドパウチです。

想定用途 洗剤等のトイレタリー用途
乳液、化粧水等の化粧品関係

5

**PEモノマテリアル スパウトパウチ
PE製スパウト付き (開発品)**

ナイロンフィルム代替として表面材に高剛性ポリエチレンを用いたスパウトパウチです。

想定用途 洗剤等のトイレタリー用途
乳液、化粧水等の化粧品関係

6

**オール生分解性パッケージ
(開発品)**

植物由来の原紙(紙やセロハン等)と生分解性樹脂を使用した、高バイオマス度+生分解の機能を持ったパッケージです。

想定用途 お茶、コーヒー、お菓子、
畜肉関係等

7

バリア性 紙包材

紙構成でありながら、酸素バリア性を付与した高バイオマス度のパッケージです。

想定用途 お茶、コーヒー、お菓子等

▶ 配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

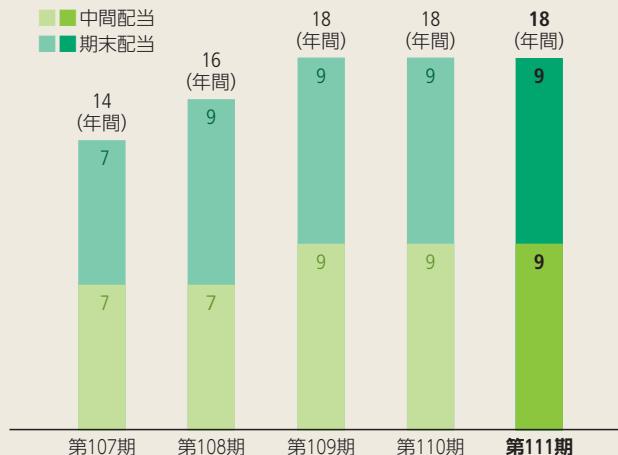
この方針の下、第111期（2020年3月期）の期末配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることといたしました。

これにより、第111期の年間配当金は、中間配当金9円と合わせて、1株当たり18円となりました。

■ 1株当たり配当金

(単位:円)

■ 中間配当
■ 期末配当



▶ IR カレンダー



2020年3月31日現在

■ 株式の状況

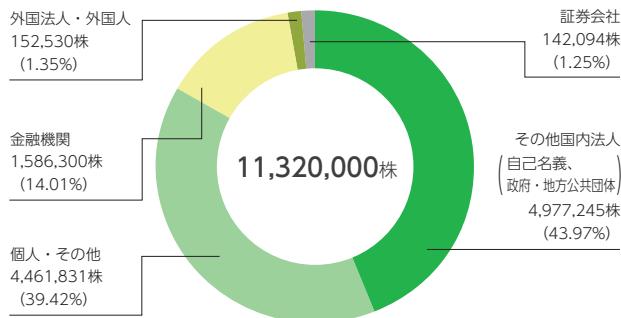
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	2,532名

■ 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.51
昭和ボックス株式会社	1,244,200	11.33
サンエー化研社員持株会	378,200	3.44
株式会社三菱UFJ銀行	310,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
みずほ信託銀行株式会社 (退職給付信託 昭和ボックス株式会社口)	300,000	2.73
双日プラネット株式会社	227,000	2.06
株式会社みずほ銀行	200,000	1.82
Japan Act合同会社	144,000	1.31
山田美千代	121,500	1.10

1. 当社は自己株式を345,345株保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
2. 持株比率は自己株式(345,345株)を控除しております。

■ 所有者別株式分布状況



■ 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	1942年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	538名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

■ 連結子会社

東邦樹脂工業株式会社	本社・工場/栃木県下都賀郡野木町野木148
株式会社ペンリード	東京都中央区日本橋本町1-7-4
灿櫻(上海)商貿有限公司	中国上海市長寧区虹橋路

■ 役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役会長	藤岡 宣 隆	社外取締役	藤澤 廣 一
代表取締役社長	山本 明 広	常勤監査役	佐藤 誠 一
常務取締役	櫻田 武 志	監査役	宮本 貞 彦
取締役	芝 彦 尚	監査役	飯崎 充
取締役	山本 元		

(注) 監査役 宮本貞彦及び飯崎充の両氏は、社外監査役です。

株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 JASDAQスタンダード
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sun-a-kaken.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

株式事務に関するお問い合わせ

- (1) 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。
- (2) 払渡期間経過後のお取り扱い
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

ホームページのご案内

当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。
当社ホームページの〈投資家情報〉では、詳細なIR情報を掲載しております。
また新製品情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、展示会情報等についてもご覧いただけます。

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元へ到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4234

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」

MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

